

「柳原らしさ」について

1 柳原地区防災まちづくり計画

令和7年度から、防災まちづくりのハード対策として、密集事業による道路拡幅や公園整備が始まる予定です。

一方で、防災まちづくりには、ソフト面の対策も重要です。ソフト面の対策として、協議会に設置する部会において様々な課題解決を図っていく予定ですが、そのためには「柳原をどのようなまちにしていきたいか」について、より具体的なイメージを共有することが重要です。

まずは、防災まちづくり計画（防災まちづくり方針）に掲げている「柳原らしさ」について計画内容を振り返り、その後自由に意見交換します。

防災まちづくり計画抜粋

柳原地区防災まちづくり方針

「柳原らしさを活かした、誰もが安心して生活できるまち」

柳原地区の将来像

- ① 地域資産を継承した柳原らしい（昭和な・レトロな）まち
- ② 安心して住み続けられる災害に強いまち
- ③ 多様な世代が暮らす文化的にぎわいのあるまち

柳原らしさとは

- ① 路地文化や木電気などが醸し出すまち並み
- ② 町会や商店活動を通じた地域住民のつながり

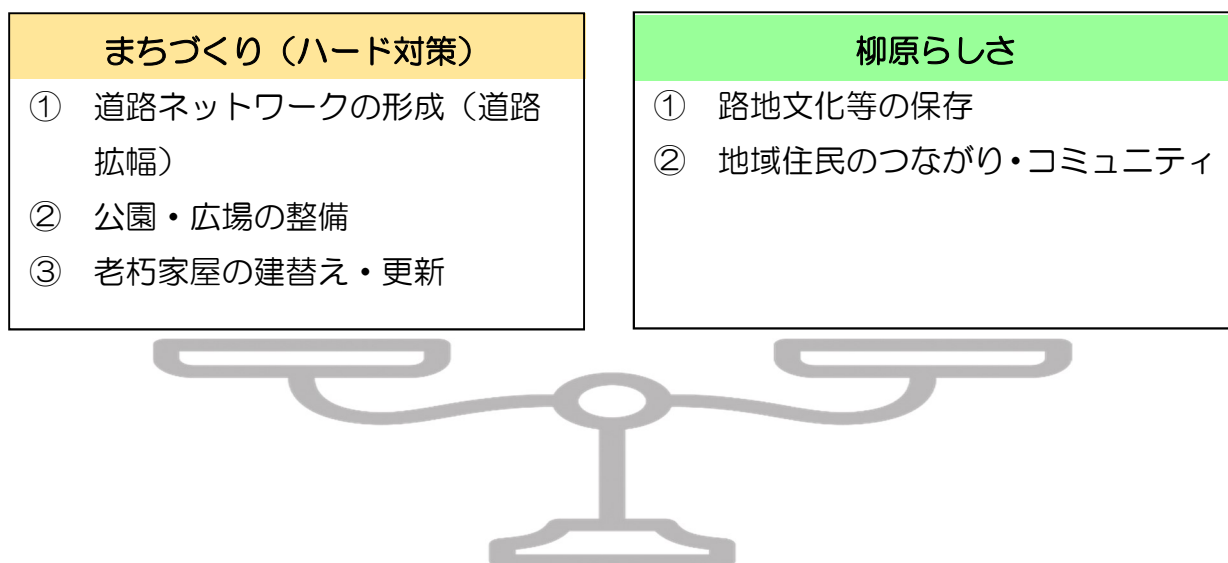


路地の様子



木電気

2 まちづくり(ハード対策)と「柳原らしさ」との共存



参考

- ① 「柳原らしさ」を残すため、6mへの道路拡幅は必要最低限としています。
- ② 商店が多い道路は6mへの拡幅対象外としています。
- ③ 6mへの拡幅対象外の道路（路地等）であっても、建築基準法により4mへの拡幅が義務付けられているものもあります。

3 さまざまな視点で語ろう

防災まちづくり計画で示す「柳原らしさ」の他に、皆さんが大切に思っている「柳原らしさ」を共有しましょう。

MEMO